

## 長野県文化財保護審議会への諮問について

文化財・生涯学習課

下記の文化財を長野県天然記念物に指定したいので、文化財保護条例（昭和 50 年長野県条例第 44 号）第 30 条第 2 項で準用する第 4 条第 3 項の規定により、長野県文化財保護審議会に諮問する。

### 記

長野県天然記念物に指定する文化財

名 称	所 在 地	所有者の住所及び名称
桜丸のイスノキ	飯田市追手町 2 - 678	長野市大字南長野字幅下 692 - 2 長野県

名 称	員数	所 在 地	所有者の住所及び名称
野尻湖産大型哺乳類化石群（ノウマンゾウ・ヤベオオツノジカ・ヘラジカ）	88 点	上水内郡信濃町大字野尻 287 - 5 野尻湖ノウマンゾウ博物館	上水内郡信濃町大字柏原 428 - 2 信濃町

## 諮 問 物 件 の 概 要

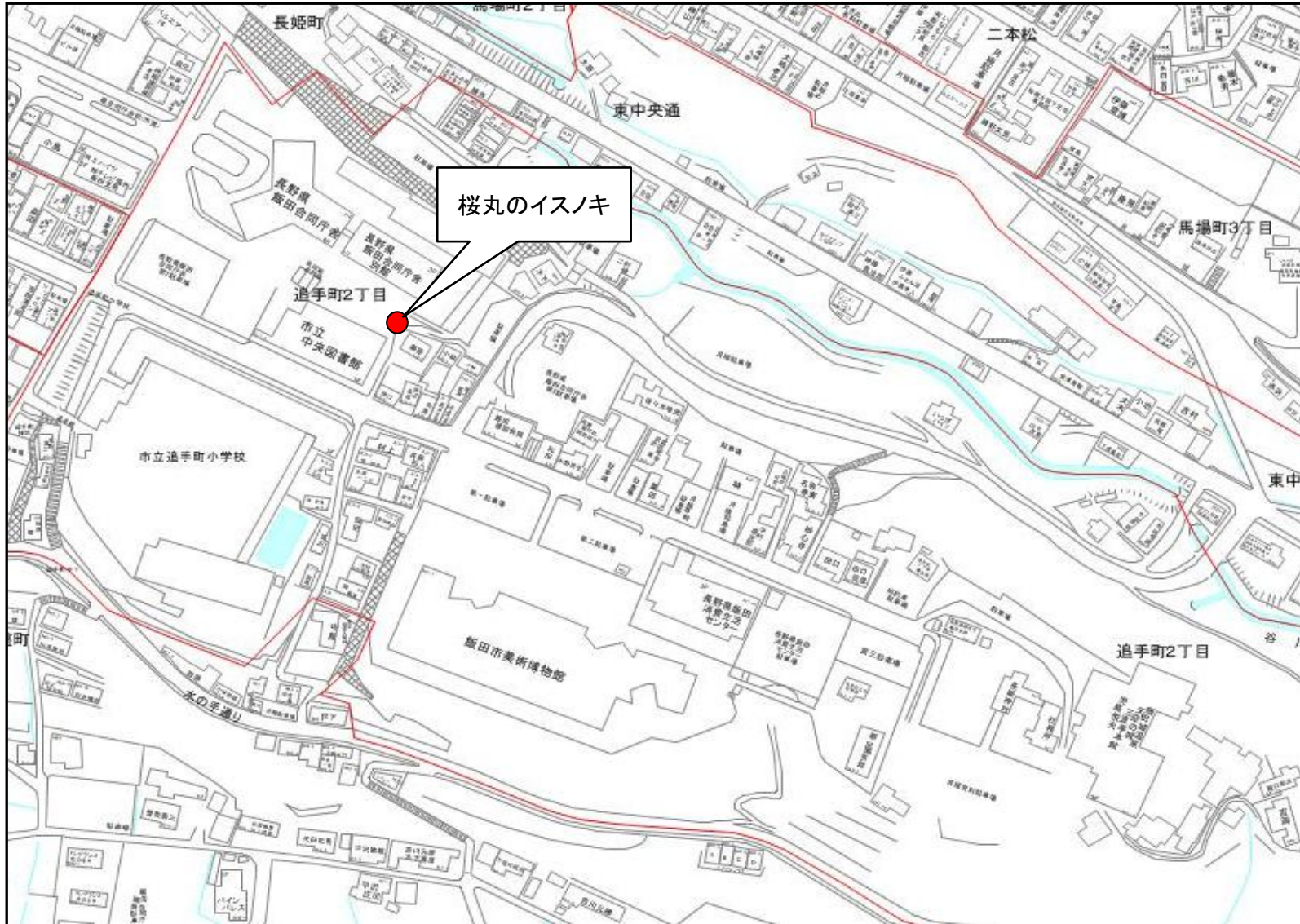
名 称	<small>さくらのまる</small> 桜丸のイスノキ
所 在 地	長野県飯田市追手町 2 - 678
所有者の住所 および氏名	長野市大字南長野字幅下 692 - 2 長野県
概況と特色	<p>                     イスノキはマンサク科に属する常緑暖帯系の高木で、樹皮は灰白色、葉は長楕円形で厚く、互生する。伊豆以西・東海・山陽・四国・九州・琉球列島に分布し、長野県内では自生種は知られていない。このことから、当該樹も、その来歴を直接語る史料はないが、人の手によって植えられたものであると考えられる。                 </p> <p>                     イスノキの葉に生ずる虫こぶは染料に用いられるほか、堅くて重い材は床・柱・机・櫛・そろばん玉などに、柞灰は陶磁器<small>いすばい</small>の釉薬にと他用途に用いられ、人との結びつきが強い樹木である。また、庭園の植栽樹として利用され、近世の大名庭園や御所などに植えられている。                 </p> <p>                     当該樹は、飯田城跡の一角「<small>さくらのまる</small>桜丸」にある。ここは、脇坂氏時代に初代安元が2代安政を養子に迎えるために御殿を建てた曲輪で、安元が多くの桜を植えたことから桜丸と名付けられたといわれる。続く堀氏の治世下では若殿や隠居の御殿として使われ、1855年（安政2）の大地震で本丸御殿が大破した後は藩主が政務を執ったという。                 </p> <p>                     現在残る城絵図や指図など（近代成立の史料群）から「桜丸」の性格を検討すると、指図の一点（明治4年頃までの近代成立）に、イスノキのある空間（苑地と推定される）に面して縁を巡らせた「御座之間」があるばかりでなく、この空間に台形平面の「御茶屋」や「青霞楼」と呼ばれる独立建物が描かれている。他にも桜丸内に寄棟造り二層の楼閣状の建物を描いている絵図があることや、「桜丸」南東側の堀が「御亭堀<small>おちん</small>」と呼ばれていることから、桜丸が藩主や一門の個人的で非公式な生活の場としても利用された側面があることがうかがえる。「青霞楼」から「御茶屋」にかけてのスペースは、そのような場の庭園であったと推定される。（金沢城、彦根城などにも同種の空間に「御亭」が設けられている）                 </p> <p>                     飯田城に「桜丸」を築いたとされる脇坂氏も、その後明治維新まで城主であった堀氏も、近世初頭の当主はともに織豊政権と深い結びつきがあった大名で、当時流行した茶の湯をはじめ、城郭                 </p>

	<p>や御殿を舞台に花開いた安土桃山文化に親しんでいたことは疑いない。これに加え、堀氏の場合、江戸幕府における役職が関連した可能性もあるが、現存する「堀家蔵書」(飯田市立図書館蔵)に残る典籍から、茶道や茶道具、さらには造園に対する関心の深さが浮かび上がる。これらの諸点を勘案すると、同じ織豊大名である前田家の金沢城に、飯田城のそれに近い規模のイスノキが現存する(藩主の別邸として延宝年間に造営された金谷御殿ほか)ことは示唆的である。</p> <p>当該樹は、すっきり伸びた単幹の樹姿で、見た目ではそれほど太さを感じさせないが、目通りは約 2.3 m に及ぶ。樹高は約 12 m で樹冠もよく繁り、樹勢の良い堂々とした木である。自生の北限を越えた高冷地の長野県において、このような巨木が今日まで伝えられてきたのは、飯田城内において大切にされたばかりでなく、近代以降も地域の人々によって大切に守られてきたことを示しており、当該樹は城下町飯田の歴史と文化を象徴する樹木の一つと言える。</p>
<p>諮問理由</p>	<p>当該樹は、自生地を越えた地で人の手によって大切に守られてきた樹木であると同時に、高冷地におけるイスノキとしても注目すべき巨樹であり、わが県における植栽植物を考える上で重要な個体である。また、その背景には飯田城における造園の歴史の存在がうかがわれ、人と樹木の関わりを物語る事例としても貴重である。</p> <p>以上のように、当該樹は植物学の資料として学術的価値が高いだけでなく、文化的にも資料的価値が高いことから、県指定文化財にふさわしいと考える。</p>
<p>指定基準</p>	<p>第8 長野県天然記念物の指定基準</p> <p>(1) 植物</p> <p>ウ 植物分布の限界地</p> <p>キ 大木、名木、奇形木等</p>

(参考)

昭和 46 年 3 月 15 日 飯田市天然記念物に指定

# 桜丸のイスノキ 位置図







飯田城のイスノキがある「桜丸」明治4年（推定）の指図より 図中赤丸は「桜丸」、緑丸はイスノキの推定位置





(飯田市教育委員会撮影)

## 諮 問 物 件 の 概 要

名 称	野尻湖産大型哺乳類化石群 (ナウマンゾウ・ヤベオオツノジカ・ヘラジカ)
所 在 地	長野県上水内郡信濃町大字野尻 287-5 野尻湖ナウマンゾウ博物館
所有者の住所 および氏名	長野県上水内郡信濃町大字柏原 428-2 信濃町
概況と特色	<p>野尻湖は、その複雑な形から、江戸時代にはすでに芙蓉湖と呼ばれ、西から北西方向に屹立する信越国境の火山群とともに、自然景観のすぐれた場所として着目されていた。</p> <p>かつて、この湖の周辺には、入り組んだ複数の湖が広がっており、新潟県側には関川が浸食した深い峡谷が横たわっているため、この地域を南北に通過できる場所はおのずと限られていた。現在の野尻湖西岸付近は、そのような場所にあたり、仲町台地から野尻湖北西岸にかけては、旧石器から縄文時代の多数の遺跡が確認されている(野尻湖遺跡群)。</p> <p>野尻湖の湖岸で、戦後間もない1948年、一つのゾウの臼歯の化石が発見された。この発見をきっかけに、野尻湖の動物化石は多くの人びとの関心を集め、1962年からは野尻湖発掘調査団によって市民参加型の発掘が組織された。開始から半世紀を経た今日も継続され、2014年春には第20次発掘を迎えようとしているこの発掘が、本県の考古学・古生物学等の調査研究に与えた影響は小さくない。</p> <p>本物件は、野尻湖産の大型哺乳類化石の中から、その性格と特色を体現するものを選抜した化石群である。構成は、ナウマンゾウ63点、ヤベオオツノジカ22点、ヘラジカ3点の計88点から成り、詳細はリストにまとめられている。いずれも最終氷期の大型哺乳類の標本で、これまでのところ人類との関係は十分に論証されていないが、その量と質において、わが国の当該時期の大型哺乳類の生態を研究する上で重要なものである。</p> <p>野尻湖産のナウマンゾウ化石は、30万年を越えるナウマンゾウの生息期間の内、4.8万～3.8万年前という特定の時期のナウマンゾウの特徴を示す資料として学術上重要である。同時に、国内に存在するナウマンゾウ化石全体の中でも、複数の頭蓋骨や国内最大の切歯(牙)、成長段階に応じた各種の臼歯が含まれるなど、ナウマンゾウの骨格や個体変異を研究するために欠かすことのできない標本群と言える。</p> <p>また、野尻湖では、2万数千年前に絶滅したナウマンゾウと、縄</p>

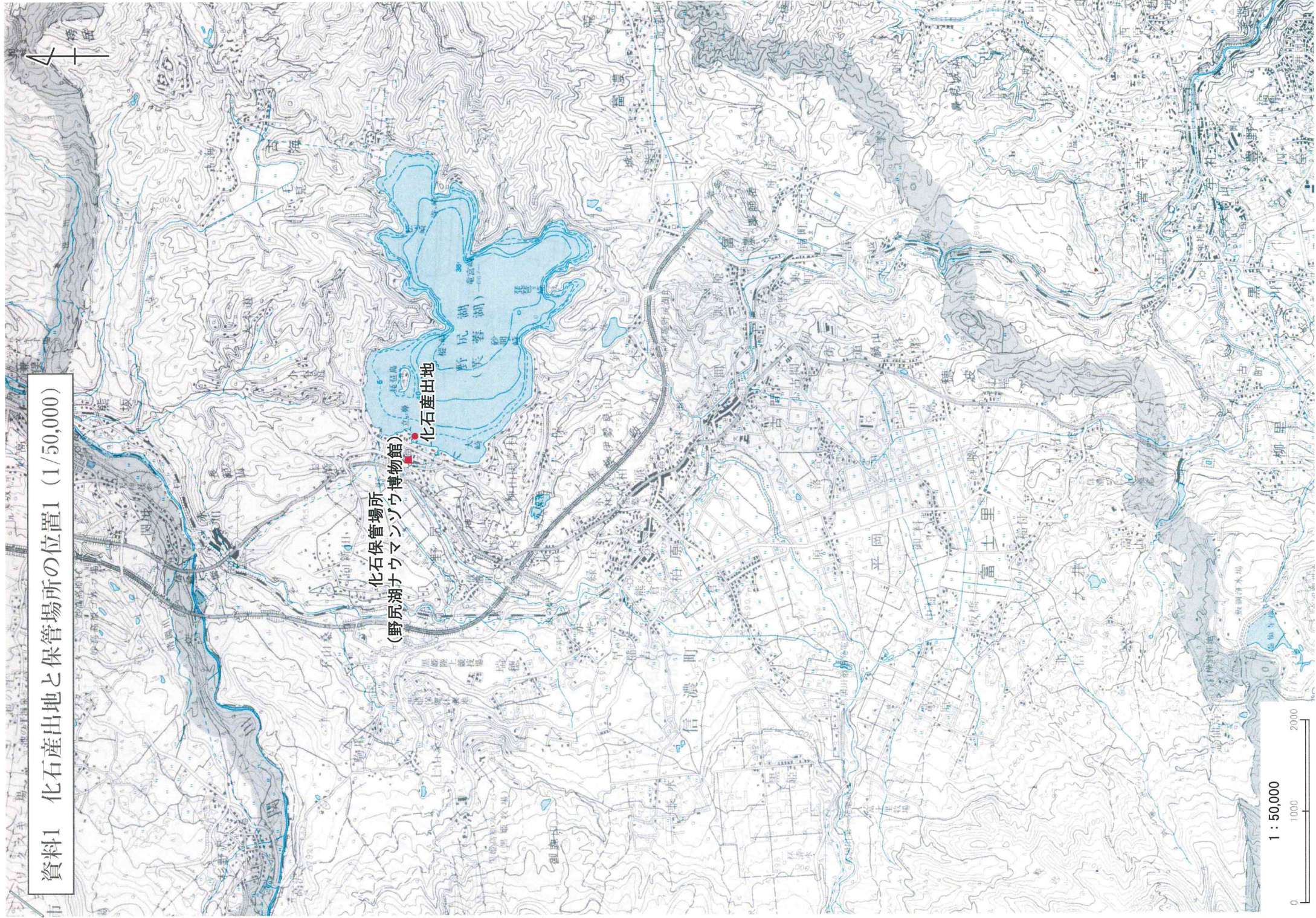
	<p>水草創期（1万2千年前頃）の遺跡からも骨が出土しているヤベオオツノジカや現在も海外で生息するヘラジカの化石とが共産していることも重要である。これらのうち、ヤベオオツノジカの掌状角とナウマンゾウの切歯が並んで発見された所謂「月と星」は、野尻湖発掘を象徴する化石にもなったが、これらの化石群は、最終氷期以降の大型哺乳類絶滅の様相を解明する上で重要な資料になり得る。</p> <p>これらの化石の全ては、1984年に開館した野尻湖ナウマンゾウ博物館に収蔵されており、そのうち多くは常設展示で公開されている。同館は野尻湖発掘調査団とは別の組織だが、開館以来積極的に野尻湖発掘に関わり、その出土品や調査成果を適切に保存・管理している。同時にこの地域の考古学・歴史学に関する教育・研究センターとしても機能しており、同館に当該化石群が保存され公開されることは、文化財の公開・活用上も意義深いと言える。</p> <p>このように、当該化石群は、最終氷期の大型哺乳類研究にとって重要な資料であると同時に、現在も野尻湖で続けられている活発で裾野の広い考古学・古生物学研究を象徴するものと位置付けられる。</p>
<p>諮問理由</p>	<p>当該化石群は、ナウマンゾウの特徴や形態の変化を研究する上で価値が高い化石である。また、ヤベオオツノジカとヘラジカがナウマンゾウと共産することから、最終氷期の大型哺乳類の絶滅や、その後の動向を探る上でも学術上重要である。</p> <p>以上のように、当該化石は、ナウマンゾウそのものの標本として、また、大型哺乳類化石群として、ともに学術的な価値が高く、県指定文化財にふさわしいと考える。</p>
<p>指定基準</p>	<p>第8 長野県天然記念物の指定基準  (3) 地質鉱物  力 標本</p>

(参考)

標本中1点(ID:015)は、平成6年6月9日に信濃町天然記念物に指定(「ナウマンゾウの1号臼歯」)されている。



資料1 化石産出地と保管場所の位置1 (1/50,000)

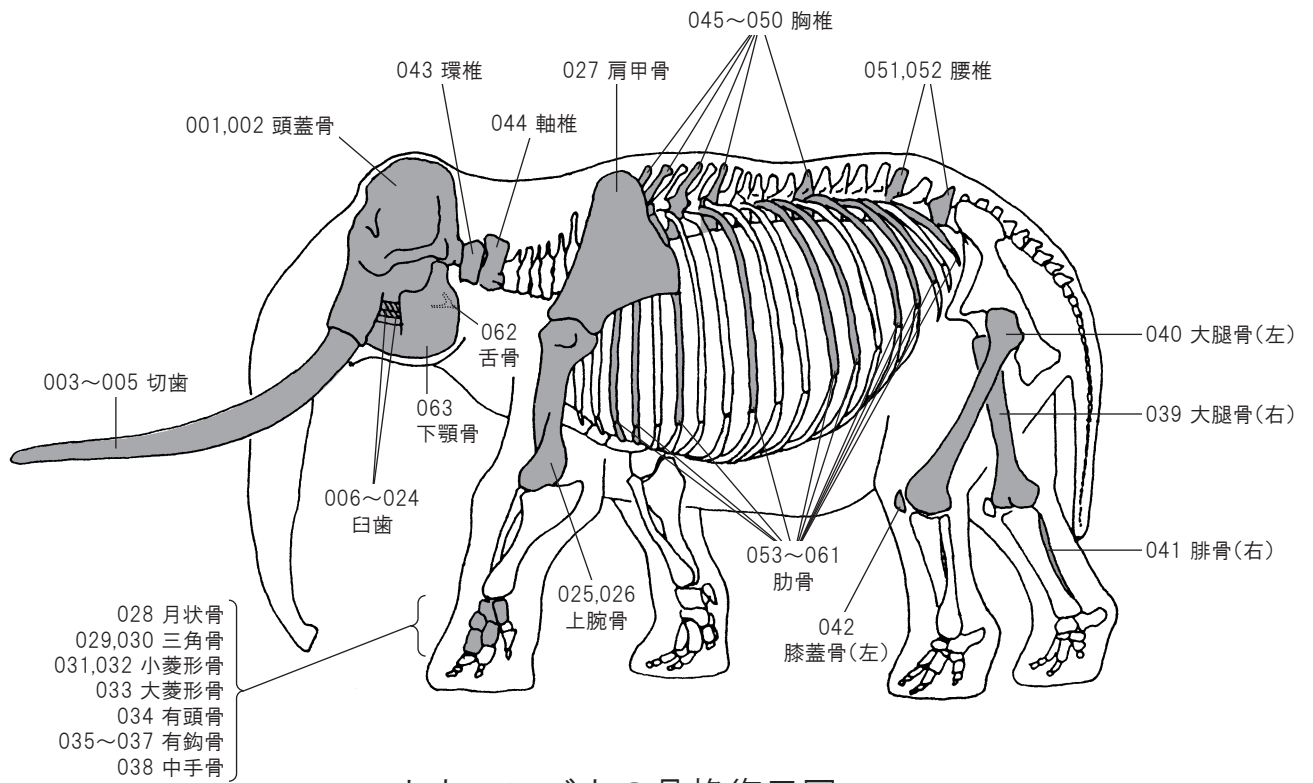


1 : 50,000

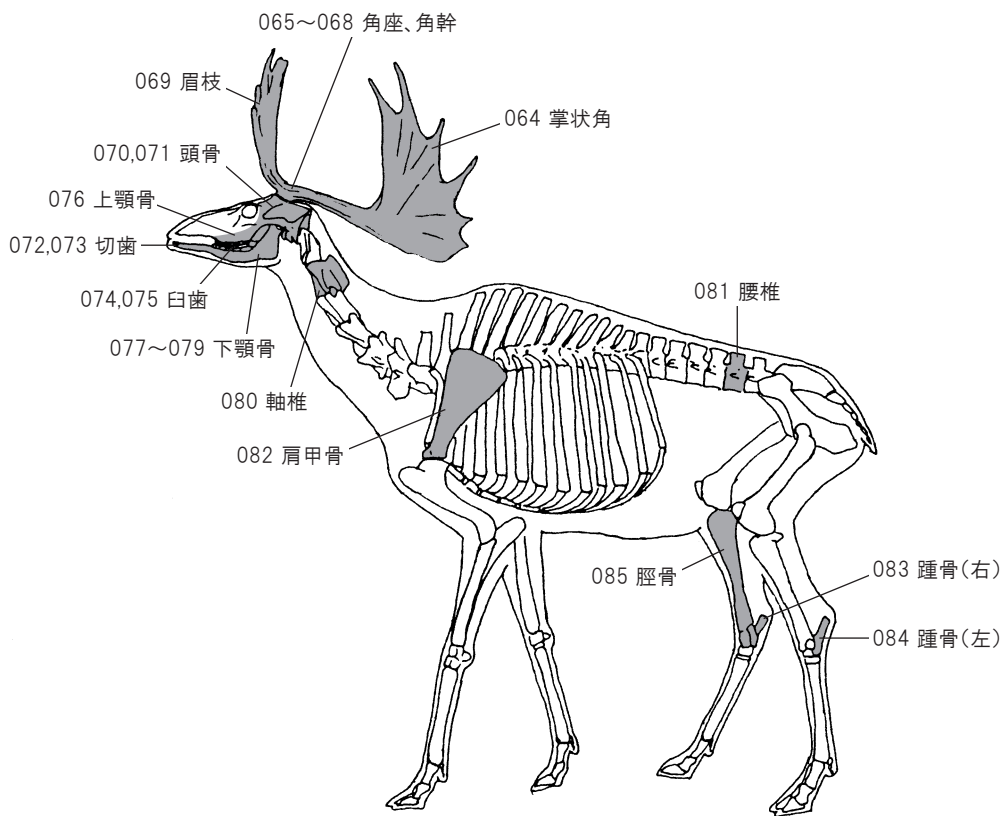




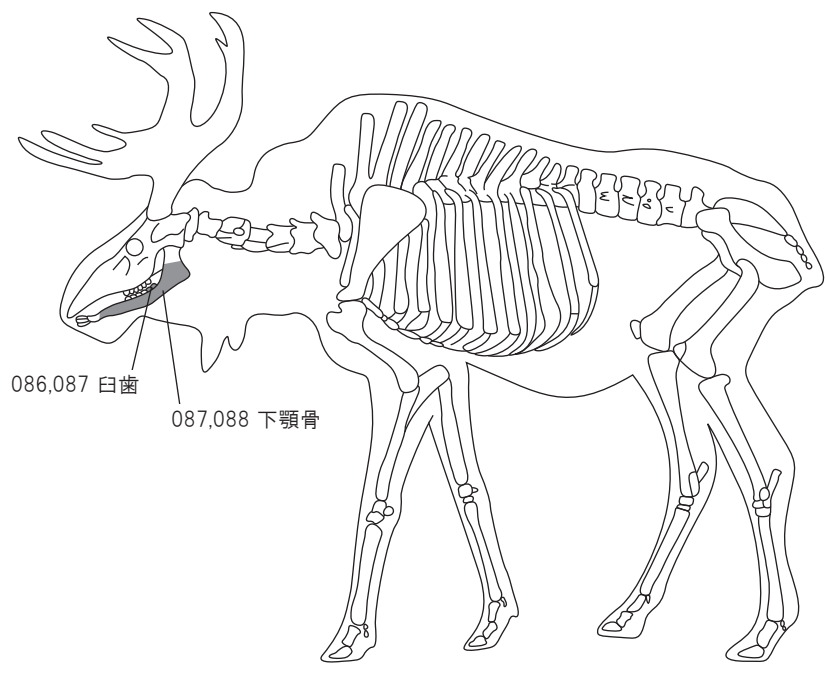
資料5 申請した化石の部位



ナウマンゾウの骨格復元図



ヤベオオツノジカの骨格復元図



ヘラジカの骨格復元図





ナウマンゾウ左上顎第3大白歯（1号白歯）（リスト015）平成6年6月9日 信濃町天然記念物に指定  
信濃町教育委員会撮影



「月と星」野尻湖発掘第5次発掘出土（リストの003と064） 野尻湖発掘調査団撮影



ナウマンゾウ復元像（親子ゾウ）国道沿



ヤベオオツノジカ復元像 展示室

信濃町教育委員会撮影





ID 001  
種別 ナウマンゾウ  
名称 頭蓋骨  
発掘年 1978  
発掘次 第07次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 7NIII Z7-2  
保管場所 収蔵庫

出典 地質学論集  
図版など 図版V\_1  
備考  
申請理由 ナウマンゾウの特徴は頭蓋骨に最もよくあらわれており、その特徴がよく見られる貴重な標本



ID 002  
種別 ナウマンゾウ  
名称 頭蓋骨  
発掘年 1981  
発掘次 第08次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 8NIII Y12-32  
保管場所 展示室

出典 専報27 野尻湖の発掘3  
図版など 図版 I\_1  
備考  
申請理由 ナウマンゾウの特徴は頭蓋骨に最もよくあらわれており、その特徴がよく見られる貴重な標本



ID 003  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左切歯  
発掘年 1973  
発掘次 第05次  
産出層準 立が鼻砂部層T3  
標本番号 5NIII X3-1 5552  
保管場所 展示室

出典 野尻湖の発掘1975  
図版など 図版18.2  
備考 「月と星」の月  
申請理由 切歯はナウマンゾウの特徴がよく表れるが、それがわかる重要な標本



ID 004  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左切歯  
発掘年 1981  
発掘次 第08次  
産出層準 立が鼻砂部層T2  
標本番号 8NIII G22-13  
保管場所 展示A-2

出典 専報27 野尻湖の発掘3  
図版など 図版11- I\_1  
備考  
申請理由 日本で最も大きい切歯の1つ。切歯はナウマンゾウの特徴がよく表れるが、それがわかる重要な標本



ID 005  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左切歯  
発掘年 1984  
発掘次 第09次  
産出層準 立が鼻砂部層T5  
標本番号 9N I C11-17  
保管場所 展示A-7

出典 専報32 野尻湖の発掘4  
図版など 図版10- II\_5  
備考  
申請理由 メスの切歯と推定されている標本。切歯はナウマンゾウの性差がよく表れるが、それがわかる重要な標本



ID 006  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左下顎第2乳臼歯  
発掘年 1984  
発掘次 第09次  
産出層準 立が鼻砂部層T7  
標本番号 9N I G9-23  
保管場所 展示A-4

出典 専報32 野尻湖の発掘4  
図版など 図版10- I\_9,10  
備考  
申請理由 ナウマンゾウの臼歯の乳歯列における特徴を表す重要な標本



ID 007  
種別 ナウマンゾウ  
名称 第3乳臼歯  
発掘年 1978  
発掘次 第07次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 7NIII D19-7  
保管場所 展示A-1

出典 地質学論集  
図版など 図版III\_1  
備考  
申請理由 ナウマンゾウの臼歯の乳歯列における特徴を表す重要な標本



ID 008  
種別 ナウマンゾウ  
名称 右下顎第1大臼歯  
発掘年 1975  
発掘次 第06次  
産出層準 立が鼻砂部層T1~T2  
標本番号 6NIII W3-17  
保管場所 展示A-4

出典 地質学論集  
図版など 図版II\_7,8,9  
備考  
申請理由 ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表す重要な標本



ID 009  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左下顎第1大臼歯  
発掘年 1990  
発掘次 第11次  
産出層準 立が鼻砂部層T2  
標本番号 11NIII H5-19  
保管場所 収蔵庫

出典 野尻湖博研究報告1号,1993  
図版など 図版II\_9,10,11  
備考  
申請理由 ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表す重要な標本



ID 010  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左上顎第1または第2大臼歯  
発掘年 1975  
発掘次 第06次  
産出層準 立が鼻砂部層T2  
標本番号 6NIII X5-11  
保管場所 展示A-4

出典 地質学論集  
図版など 図版III\_6,7,8,9,10  
備考 脱臼歯  
申請理由 ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表す重要な標本



ID 011  
種別 ナウマンゾウ  
名称 右上顎第2大臼歯  
発掘年 1978  
発掘次 第07次  
産出層準 立が鼻砂部層T2  
標本番号 7NIII Z9-21  
保管場所 展示A-4

出典 地質学論集  
図版など なし  
備考  
申請理由 ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表す重要な標本



ID 012  
種別 ナウマンゾウ  
名称 右上顎第2大臼歯  
発掘年 1984  
発掘次 第09次  
産出層準 立が鼻砂部層T2  
標本番号 9NIII Q14-36  
保管場所 展示A-4

出典 専報32 野尻湖の発掘4  
図版など 図版10- I\_11,12  
備考  
申請理由 ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表す重要な標本



ID 013  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左上顎第2大臼歯  
出版 野尻湖博物館研究報告11号,2003  
図版など 図版1.7,8,9  
備考  
発掘年 2000  
発掘次 第14次  
産出層準 立が鼻砂部層T2  
標本番号 14NIII022-1  
保管場所 取藏庫石膏棚



ID 014  
種別 ナウマンゾウ  
名称 右下顎第3大臼歯  
出版 野尻湖博物館研究報告11号,2003  
図版など 図版1.10,11,12  
備考  
発掘年 2000  
発掘次 第14次  
産出層準 立が鼻砂部層T2  
標本番号 14NIII021-10  
保管場所 取藏庫石膏棚



ID 015  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左上顎第3大臼歯  
出版 野尻湖の発掘,1975  
図版など 図版12.3 図版13.3  
備考 (信濃町天然記念物「ナウマンゾウの1号臼歯」)  
申請理由 ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本  
発掘年 1948  
発掘次 表面採集  
産出層準 ナウマンゾウの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本  
標本番号 0001  
保管場所 展示室



ID 016  
種別 ナウマンゾウ  
名称 右下顎第3大臼歯  
出版 地質学論集  
図版など なし  
備考  
発掘年 1974  
発掘次 湖底地質調査  
産出層準 立が鼻砂部層T2  
標本番号 74IBD-1  
保管場所 展示A-4



ID 017  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左上顎第3大臼歯  
出版 野尻湖の発掘,1975  
図版など 図版14.5 図版16.2  
備考  
発掘年 1973  
発掘次 第05次  
産出層準 立が鼻砂部層T2  
標本番号 5NIII02-10 5495  
保管場所 展示A-4



ID 018  
種別 ナウマンゾウ  
名称 右上顎第3大臼歯  
出版 地質学論集  
図版など 図版1.1,2,3  
備考  
発掘年 1978  
発掘次 第07次  
産出層準 立が鼻砂部層T7  
標本番号 7NIII010-5  
保管場所 展示A-4



ID 019  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左上顎第3大臼歯  
出版 地質学論集  
図版など なし  
備考  
発掘年 1978  
発掘次 第07次  
産出層準 立が鼻砂部層T2  
標本番号 7NIII021-9  
保管場所 展示A-4



ID 020  
種別 ナウマンゾウ  
名称 右下顎第3大臼歯  
出版 地質学論集  
図版など 図版1.4,5,6  
備考  
発掘年 1978  
発掘次 第07次  
産出層準 立が鼻砂部層T7  
標本番号 7NIII14-31  
保管場所 展示A-4



ID 021  
種別 ナウマンゾウ  
名称 右上顎第3大臼歯  
出版 専報27,野尻湖の発掘3  
図版など 図版1.2,3,4  
備考  
発掘年 1981  
発掘次 第08次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 8NIII12-7  
保管場所 展示A-4



ID 022  
種別 ナウマンゾウ  
名称 脱落歯  
出版 専報32,野尻湖の発掘4  
図版など 図版10-1.1,2  
備考  
発掘年 1984  
発掘次 第09次  
産出層準 立が鼻砂部層T2  
標本番号 9NIIIQ15-47  
保管場所 展示A-4



ID 023  
種別 ナウマンゾウ  
名称 脱落歯  
出版 専報32,野尻湖の発掘4  
図版など 図版10-1.3,4  
備考  
発掘年 1984  
発掘次 第09次  
産出層準 立が鼻砂部層T2  
標本番号 9NIIIQ18-17  
保管場所 展示A-4



ID 024  
種別 ナウマンゾウ  
名称 脱落歯  
出版 専報32,野尻湖の発掘4  
図版など 図版10-1.7,8  
備考  
発掘年 1984  
発掘次 第09次  
産出層準 立が鼻砂部層T7  
標本番号 9NIIIQ19-20  
保管場所 展示A-4



ID 025  
種別 ナウマンゾウ  
名称 右上脛骨  
発掘年 1990  
発掘次 第11次  
産出層準 海浜砂シルト部層U2  
標本番号 LINIII A17-12  
保管場所 収蔵庫

出典 野尻湖博物館報告1号\_1993  
図版など 図版IV-1,2,3,4  
備考  
申請理由 野尻湖層中で最も古いナウマンゾウ化石



ID 026  
種別 ナウマンゾウ  
名称 右上脛骨  
発掘年 1997  
発掘次 第13次  
産出層準 立が鼻砂部層T7  
標本番号 ISNIII T13-1  
保管場所 収蔵庫

出典 野尻湖ナウマンゾウ博物館報告8号\_2000  
図版など 図版I-1,2  
備考  
申請理由 野尻湖層中で最も新しいナウマンゾウ化石



ID 027  
種別 ナウマンゾウ  
名称 右肩甲骨  
発掘年 1984  
発掘次 第09次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 9N I E8-11  
保管場所 展示室

出典 専報32\_野尻湖の発掘4  
図版など 図版10-IV\_1  
備考  
申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 028  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左月状骨  
発掘年 1984  
発掘次 第09次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 9N I F8-10  
保管場所 収蔵庫

出典 専報32\_野尻湖の発掘4  
図版など 図版10-IV\_4,5  
備考  
申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 029  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左三角骨  
発掘年 1975  
発掘次 第06次  
産出層準 立が鼻砂部層T5  
標本番号 6N I F6-5  
保管場所 収蔵庫

出典 地質学論集, 専報32\_野尻湖の発掘4  
図版など なし  
備考  
申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 030  
種別 ナウマンゾウ  
名称 右三角骨  
発掘年 1978  
発掘次 第07次  
産出層準 立が鼻砂部層T2  
標本番号 7NIII D14-43  
保管場所 収蔵庫

出典 地質学論集  
図版など なし  
備考  
申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 031  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左小菱形骨  
発掘年 1975  
発掘次 第06次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 6N I D7-11  
保管場所 収蔵庫

出典 地質学論集, 専報32\_野尻湖の発掘4  
図版など なし  
備考 図版2,3と  
申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 032  
種別 ナウマンゾウ  
名称 右小菱形骨  
発掘年 1975  
発掘次 第06次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 6N I F7-7  
保管場所 収蔵庫

出典 地質学論集  
図版など なし  
備考  
申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 033  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左大菱形骨  
発掘年 1984  
発掘次 第09次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 9N I E7-11  
保管場所 収蔵庫

出典 専報32\_野尻湖の発掘4  
図版など 図版10-IV\_4,5  
備考  
申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 034  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左有頭骨  
発掘年 1975  
発掘次 第06次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 6N I D9-16  
保管場所 収蔵庫

出典 地質学論集, 専報32\_野尻湖の発掘4  
図版など 図版Ⅷ\_5,6,7  
備考 図版1,3と  
申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 035  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左有鈎骨  
発掘年 1973  
発掘次 第05次  
産出層準 立が鼻砂部層T6  
標本番号 5N I D5-2  
保管場所 収蔵庫

出典 地質学論集  
図版など なし  
備考  
申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 036  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左有鈎骨  
発掘年 1975  
発掘次 第06次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 6N I D9-5  
保管場所 収蔵庫

出典 地質学論集  
図版Ⅷ\_1,2,3  
備考 図版1,2と  
申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 037	ナウマンゾウ 種別 名称 右有鈎骨	出典 地質学論集	図版など なし	備考 なし	申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本	発掘年 1975	発掘次 第06次	産出層準 立が鼻砂部層T7 6N I B7-1	標本番号 6N I A9-20	収蔵庫 05-06	保管場所 展示A-7
-----------	----------------------------	-------------	------------	----------	--	-------------	-------------	-------------------------------	--------------------	--------------	---------------



ID 038	ナウマンゾウ 種別 名称 右第3中手骨	出典 地質学論集, 専報32, 野尻湖の発掘4	図版など なし	備考 1987に左第3中手骨と訂正	申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本	発掘年 1973	発掘次 第05次	産出層準 立が鼻砂部層T4 5N I A9-20	標本番号 5N I A9-20	収蔵庫 05-08	保管場所 展示A-7
-----------	------------------------------	----------------------------	------------	----------------------	--	-------------	-------------	--------------------------------	--------------------	--------------	---------------



ID 039	ナウマンゾウ 種別 名称 右大腿骨	出典 地質学論集	図版など 図版IX.3,4,5	備考 なし	申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本	発掘年 1975	発掘次 第06次	産出層準 立が鼻砂部層T2 6N III T10-18	標本番号 6N III T10-18	収蔵庫 05-07	保管場所 展示A-7
-----------	----------------------------	-------------	--------------------	----------	--	-------------	-------------	-----------------------------------	-----------------------	--------------	---------------



ID 040	ナウマンゾウ 種別 名称 左大腿骨	出典 地質学論集	図版など 図版X.1,2	備考 なし	申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本	発掘年 1975	発掘次 第06次	産出層準 立が鼻砂部層T2 6N III T2-12	標本番号 6N III T2-12	収蔵庫 05-07	保管場所 展示A-7
-----------	----------------------------	-------------	-----------------	----------	--	-------------	-------------	----------------------------------	----------------------	--------------	---------------



ID 041	ナウマンゾウ 種別 名称 右腓骨	出典 地質学論集	図版など 図版X.3,4	備考 なし	申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本	発掘年 1975	発掘次 第06次	産出層準 立が鼻砂部層T2 6N III T4-6	標本番号 6N III T4-6	収蔵庫 05-07	保管場所 展示A-7
-----------	---------------------------	-------------	-----------------	----------	--	-------------	-------------	---------------------------------	---------------------	--------------	---------------



ID 042	ナウマンゾウ 種別 名称 左膝蓋骨	出典 地質学論集	図版など 図版X.5,6	備考 なし	申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本	発掘年 1975	発掘次 第06次	産出層準 立が鼻砂部層T2 6N III B5-1	標本番号 6N III B5-1	収蔵庫 6-20箱	保管場所 展示A-7
-----------	----------------------------	-------------	-----------------	----------	--	-------------	-------------	---------------------------------	---------------------	--------------	---------------



ID 043	ナウマンゾウ 種別 名称 頸椎	出典 野尻湖の発掘, 1975	図版など なし	備考 なし	申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本	発掘年 1965	発掘次 第04次	産出層準 立が鼻砂部層T2 6N I F7-3	標本番号 6N I F7-3	収蔵庫 06-06	保管場所 展示A-7
-----------	--------------------------	--------------------	------------	----------	--	-------------	-------------	-------------------------------	-------------------	--------------	---------------



ID 044	ナウマンゾウ 種別 名称 軸椎	出典 野尻湖の発掘, 1975	図版など なし	備考 なし	申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本	発掘年 1965	発掘次 第04次	産出層準 立が鼻砂部層T2 6N I F7-3	標本番号 6N I F7-3	収蔵庫 06-06	保管場所 展示A-7
-----------	--------------------------	--------------------	------------	----------	--	-------------	-------------	-------------------------------	-------------------	--------------	---------------



ID 045	ナウマンゾウ 種別 名称 第1または5胸椎	出典 専報32, 野尻湖の発掘4	図版など 図版10-III.1,2	備考 なし	申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本	発掘年 1984	発掘次 第09次	産出層準 立が鼻砂部層T2 9N III Q2-16	標本番号 9N III Q2-16	収蔵庫 06-07	保管場所 展示A-7
-----------	--------------------------------	---------------------	----------------------	----------	--	-------------	-------------	----------------------------------	----------------------	--------------	---------------



ID 046	ナウマンゾウ 種別 名称 第6または7胸椎	出典 地質学論集	図版など なし	備考 なし	申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本	発掘年 1975	発掘次 第06次	産出層準 立が鼻砂部層T4 6N I F7-3	標本番号 6N I F7-3	収蔵庫 06-06	保管場所 展示A-7
-----------	--------------------------------	-------------	------------	----------	--	-------------	-------------	-------------------------------	-------------------	--------------	---------------



ID 047	ナウマンゾウ 種別 名称 第6~9胸椎	出典 専報32, 野尻湖の発掘4	図版など 図版10-III.3,4	備考 なし	申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本	発掘年 1984	発掘次 第09次	産出層準 海強砂シルト部層U3 9N III M26-2	標本番号 9N III M26-2	収蔵庫 09-15	保管場所 展示A-7
-----------	------------------------------	---------------------	----------------------	----------	--	-------------	-------------	------------------------------------	----------------------	--------------	---------------



ID 048	ナウマンゾウ 種別 名称 第10または11胸椎	出典 地質学論集	図版など なし	備考 なし	申請理由 ステージ3におけるナウマンゾウの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本	発掘年 1974	発掘次 湖底地質調査	産出層準 立が鼻砂部層T2 74 II d-5	標本番号 74 II d-5	収蔵庫 09-15	保管場所 展示A-7
-----------	----------------------------------	-------------	------------	----------	--	-------------	---------------	-------------------------------	-------------------	--------------	---------------







ID 049  
種別 ナウマンゾウ  
名称 第14胸椎  
発掘年 1987  
発掘次 第10次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 10N I B9-2  
保管場所 展示A-7

出典 専報37\_野尻湖の発掘5  
図版11-II.1,2  
備考  
申請理由 ステージ31におけるナウマンゾウの体股骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 050  
種別 ナウマンゾウ  
名称 第16胸椎  
発掘年 1975  
発掘次 第06次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 6N I B9-15  
保管場所 展示A-7

出典 地質学論集  
図版VI.1,2,3  
備考  
申請理由 ステージ31におけるナウマンゾウの体股骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 051  
種別 ナウマンゾウ  
名称 第11腰椎  
発掘年 1987  
発掘次 第10次  
産出層準 立が鼻砂部層T2  
標本番号 10N III E16-3  
保管場所 展示A-7

出典 専報37\_野尻湖の発掘5  
図版11-II.5,6  
備考  
申請理由 ステージ31におけるナウマンゾウの体股骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 052  
種別 ナウマンゾウ  
名称 第3腰椎  
発掘年 1978  
発掘次 第07次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 7N III 212-20  
保管場所 展示A-7

出典 地質学論集  
図版VI.4,5,6  
備考  
申請理由 ステージ31におけるナウマンゾウの体股骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 053  
種別 ナウマンゾウ  
名称 右第3肋骨  
発掘年 1973  
発掘次 第05次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 5N I A9-14.5074  
保管場所 展示A-7

出典 野尻湖の発掘1975  
図版など 備考  
申請理由 ステージ31におけるナウマンゾウの体股骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 054  
種別 ナウマンゾウ  
名称 右第4肋骨  
発掘年 1975  
発掘次 第06次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 6N I B9-39  
保管場所 展示A-7

出典 地質学論集  
図版VII.3,4  
備考  
申請理由 ステージ31におけるナウマンゾウの体股骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 055  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左第6肋骨  
発掘年 1975  
発掘次 第06次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 6N I D9-8  
保管場所 収蔵庫 棚

出典 地質学論集  
図版など 備考  
申請理由 ステージ31におけるナウマンゾウの体股骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 056  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左第9肋骨(前後)  
発掘年 1978  
発掘次 第07次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 7N I C9-2  
保管場所 収蔵庫 棚

出典 地質学論集  
図版VII.1,6  
備考  
申請理由 ステージ31におけるナウマンゾウの体股骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 057  
種別 ナウマンゾウ  
名称 右第12(2)肋骨  
発掘年 1975  
発掘次 第06次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 6N I B8-19  
保管場所 展示A-7

出典 地質学論集  
図版VII.2,5  
備考  
申請理由 ステージ31におけるナウマンゾウの体股骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 058  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左第13肋骨  
発掘年 1973  
発掘次 第05次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 5N I A8-9.5057  
保管場所 展示A-7

出典 野尻湖の発掘1975  
図版など 備考  
申請理由 ステージ31におけるナウマンゾウの体股骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 059  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左第15または16肋骨  
発掘年 1987  
発掘次 第10次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 10N I C8-3  
保管場所 展示A-7

出典 専報37\_野尻湖の発掘5  
図版11-II.9  
備考  
申請理由 ステージ31におけるナウマンゾウの体股骨の形態的特徴を解明できる重要な標本

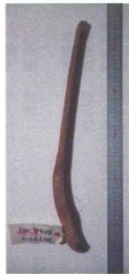


ID 060  
種別 ナウマンゾウ  
名称 左第17または18肋骨  
発掘年 1987  
発掘次 第10次  
産出層準 立が鼻砂部層T4  
標本番号 10N I C9-3  
保管場所 収蔵庫 棚

出典 専報37\_野尻湖の発掘5  
図版11-II.10  
備考  
申請理由 ステージ31におけるナウマンゾウの体股骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID	061	出典	地質学論集
種別	ナウマンゾウ	図版など	なし
名称	右第19肋骨	備考	
発掘年	1975	申請理由	ステージ3におけるナウマンゾウの体股骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
発掘次	第06次	産出層準	6N I D7-9
産出層準	立が鼻砂部層T4	標本番号	6N I C9-13
標本番号	9N I C9-13	保管場所	展示A-7
保管場所	収蔵庫		



ID	062	出典	地質学論集
種別	ナウマンゾウ	図版など	なし
名称	左基状舌骨	備考	
発掘年	1973	申請理由	舌骨はゾウの種によって変異が大きい、それを解明する貴重な標本
発掘次	第05次	産出層準	5N I C9-13
産出層準	立が鼻砂部層T4	標本番号	9N I C9-13
標本番号	9N I C9-13	保管場所	収蔵庫
保管場所	収蔵庫		



ID	063	出典	専報32 野尻湖の発掘4
種別	ナウマンゾウ	図版など	図版10- II .7,8
名称	下顎骨	備考	
発掘年	1984	申請理由	ナウマンゾウの下顎骨の形態がわかる重要な標本
発掘次	第09次	産出層準	9N III Q17-37
産出層準	立が鼻砂部層T4	標本番号	9N III Q17-37
標本番号	9N III Q17-37	保管場所	展示A-7
保管場所	展示A-7		



ID	064	出典	野尻湖の発掘1975
種別	ヤベオオツノジカ	図版など	図版19
名称	掌状角	備考	「月と星」の星
発掘年	1973	申請理由	ヤベオオツノジカの特徴は掌状角の形態にあり、その特徴が完全に近い形で保存されている標本
発掘次	第05次	産出層準	5N III X3-2 .5553
産出層準	立が鼻砂部層T3	標本番号	5N III X3-2 .5553
標本番号	5N III X3-2 .5553	保管場所	収蔵庫 棚
保管場所	収蔵庫 棚		



ID	065	出典	専報27 野尻湖の発掘3
種別	ヤベオオツノジカ	図版など	図版12- I .1,2,3,4
名称	右角座、角幹	備考	野尻湖入標本
発掘年	1981	申請理由	ヤベオオツノジカの特徴をつける角を復元するために重要な標本
発掘次	第08次	産出層準	8N III G22-12
産出層準	立が鼻砂部層T2	標本番号	8N III G22-12
標本番号	8N III G22-12	保管場所	展示室
保管場所	展示室		



ID	066	出典	専報27 野尻湖の発掘3
種別	ヤベオオツノジカ	図版など	図版12- II .1,2,3,4
名称	右角座、角幹	備考	野尻湖入標本
発掘年	1981	申請理由	ヤベオオツノジカの特徴をつける角を復元するために重要な標本
発掘次	第08次	産出層準	8N III U16-23
産出層準	立が鼻砂部層T1	標本番号	8N III U16-23
標本番号	8N III U16-23	保管場所	収蔵庫 sy角座骨
保管場所	収蔵庫 sy角座骨		



ID	067	出典	専報32 野尻湖の発掘4
種別	ヤベオオツノジカ	図版など	図版10-V .6
名称	左角	備考	
発掘年	1984	申請理由	ヤベオオツノジカの特徴をつける角を復元するために重要な標本
発掘次	第09次	産出層準	9N I AI12-4
産出層準	立が鼻砂部層T2	標本番号	9N I AI12-4
標本番号	9N I AI12-4	保管場所	展示室
保管場所	展示室		



ID	068	出典	専報32 野尻湖の発掘4
種別	ヤベオオツノジカ	図版など	図版10-V .7
名称	右角	備考	
発掘年	1984	申請理由	ヤベオオツノジカの特徴をつける角を復元するために重要な標本
発掘次	第09次	産出層準	9N I AI12-2
産出層準	立が鼻砂部層T2	標本番号	9N I AI12-2
標本番号	9N I AI12-2	保管場所	展示室
保管場所	展示室		



ID	069	出典	専報32 野尻湖の発掘4
種別	ヤベオオツノジカ	図版など	図版10-V .9
名称	左眉枝	備考	
発掘年	1984	申請理由	ヤベオオツノジカの特徴をつける角を復元するために重要な標本
発掘次	第09次	産出層準	9N I AI12-3
産出層準	立が鼻砂部層T2	標本番号	9N I AI12-3
標本番号	9N I AI12-3	保管場所	展示室
保管場所	展示室		



ID	070	出典	専報37 野尻湖の発掘5
種別	ヤベオオツノジカ	図版など	図版11-IV .1,2
名称	頭骨の頭頂部	備考	
発掘年	1987	申請理由	ヤベオオツノジカの頭蓋骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
発掘次	第10次	産出層準	10N III 123-15
産出層準	立が鼻砂部層T2	標本番号	10N III 123-15
標本番号	10N III 123-15	保管場所	収蔵庫 sy-04
保管場所	収蔵庫 sy-04		



ID	071	出典	野尻湖研究報告4号、1996
種別	ヤベオオツノジカ	図版など	図版 III .2
名称	後頭骨底部	備考	
発掘年	1983	申請理由	ヤベオオツノジカの頭蓋骨の形態的特徴を解明できる重要な標本
発掘次	第12次	産出層準	12N III Y3-25
産出層準	立が鼻砂部層T2	標本番号	12N III Y3-25
標本番号	12N III Y3-25	保管場所	収蔵庫 sy-03
保管場所	収蔵庫 sy-03		



ID	072	出典	地質学論集
種別	ヤベオオツノジカ	図版など	図版 II .9,10
名称	右下顎第1切歯	備考	
発掘年	1975	申請理由	ヤベオオツノジカの切歯は今までほとんど発見されていない、種の特徴を表わす貴重な標本
発掘次	第06次	産出層準	6N III R6-3
産出層準	立が鼻砂部層T1~T2	標本番号	6N III R6-3
標本番号	6N III R6-3	保管場所	展示室
保管場所	展示室		



ID 073 野尻湖博研究報告16号\_2008  
 種別 ヤベオオツノジカ  
 名称 右下顎骨  
 発掘年 2006  
 発掘次 第16次  
 産出層準 立が鼻砂部層T2  
 標本番号 16NIII F18-23  
 保管場所 収蔵庫 16-01

出典 野尻湖博研究報告16号\_2008  
 図版など 図版 I\_4,5  
 備考  
 申請理由 ヤベオオツノジカの咀嚼は今までほとんど発見されていまい、種の特徴を表わす貴重な標本



ID 074 専報32\_野尻湖の発掘4  
 種別 ヤベオオツノジカ  
 名称 左上顎第3乳臼歯  
 発掘年 1984  
 発掘次 第09次  
 産出層準 立が鼻砂部層T4  
 標本番号 9N I E8-14  
 保管場所 収蔵庫 sy-24

出典 専報32\_野尻湖の発掘4  
 図版など 図版10-V\_1,2  
 備考  
 申請理由 ヤベオオツノジカの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本



ID 075 専報37\_野尻湖の発掘5  
 種別 ヤベオオツノジカ  
 名称 左上顎第3大臼歯  
 発掘年 1987  
 発掘次 第10次  
 産出層準 立が鼻砂部層T2  
 標本番号 10NIII E15-27  
 保管場所 収蔵庫 sy-12

出典 専報37\_野尻湖の発掘5  
 図版など 図版11-IV\_3,4  
 備考  
 申請理由 ヤベオオツノジカの臼歯の特徴をよく表わす重要な標本



ID 076 地質学論集  
 種別 ヤベオオツノジカ  
 名称 左上顎骨  
 発掘年 1978  
 発掘次 第07次  
 産出層準 立が鼻砂部層T1~T2  
 標本番号 7NIII M2-11  
 保管場所 展示室

出典 地質学論集  
 図版など 図版 II\_6  
 備考  
 申請理由 ヤベオオツノジカの臼歯・下顎骨及び上・下顎骨の形態的特徴がわかる重要な標本



ID 077 野尻湖の発掘1975  
 種別 ヤベオオツノジカ  
 名称 左下顎骨  
 発掘年 1973  
 発掘次 第05次  
 産出層準 5NIII W1-5 5515  
 保管場所 収蔵庫 sy-11

出典 野尻湖の発掘1975  
 図版など 図版11-5  
 備考 不完全なM1~M3  
 申請理由 ヤベオオツノジカの臼歯・下顎骨の特徴をよく表わす重要な標本



ID 078 地質学論集  
 種別 ヤベオオツノジカ  
 名称 左下顎骨  
 発掘年 1978  
 発掘次 第07次  
 産出層準 立が鼻砂部層T7  
 標本番号 7NIII M23-10  
 保管場所 展示室

出典 地質学論集  
 図版など 図版 II\_7,8  
 備考  
 申請理由 ヤベオオツノジカの臼歯・下顎骨及び上・下顎骨の形態的特徴がわかる重要な標本



ID 079 専報37\_野尻湖の発掘5  
 種別 ヤベオオツノジカ  
 名称 右下顎骨  
 発掘年 1987  
 発掘次 第10次  
 産出層準 立が鼻砂部層T7  
 標本番号 10NIII L21-4  
 保管場所 収蔵庫 sy-24

出典 専報37\_野尻湖の発掘5  
 図版など 図版11-IV\_6,7  
 備考  
 申請理由 ヤベオオツノジカの臼歯・下顎骨及び上・下顎骨の形態的特徴がわかる重要な標本



ID 080 野尻湖の発掘1975  
 種別 ヤベオオツノジカ  
 名称 軸椎  
 発掘年 1973  
 発掘次 第05次  
 産出層準 立が鼻砂部層T7  
 標本番号 5N I D9-1 5252  
 保管場所 収蔵庫 sy-22

出典 野尻湖の発掘1975  
 図版など 図版11-7  
 備考  
 申請理由 ヤベオオツノジカの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 081 ヤベオオツノジカ  
 種別 ヤベオオツノジカ  
 名称 腰椎  
 発掘年 1984  
 発掘次 第09次  
 産出層準 立が鼻砂部層T7  
 標本番号 9N I G7-4  
 保管場所 収蔵庫 sy-22

出典  
 図版など  
 備考  
 申請理由 ヤベオオツノジカの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 082 野尻湖の発掘1975  
 種別 ヤベオオツノジカ  
 名称 右肩甲骨  
 発掘年 1973  
 発掘次 第05次  
 産出層準 立が鼻砂部層T7  
 標本番号 5N I C9-2 5181  
 保管場所 展示室

出典 野尻湖の発掘1975  
 図版など 図版11-6  
 備考  
 申請理由 ヤベオオツノジカの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 083 地質学論集  
 種別 ヤベオオツノジカ  
 名称 右頭骨  
 発掘年 1975  
 発掘次 第06次  
 産出層準 立が鼻砂部層T1~T2  
 標本番号 6NIII T9-23  
 保管場所 展示B-3

出典 地質学論集  
 図版など 図版IV\_4,5  
 備考  
 申請理由 ヤベオオツノジカの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本



ID 084 地質学論集  
 種別 ヤベオオツノジカ  
 名称 左頭骨  
 発掘年 1978  
 発掘次 第07次  
 産出層準 立が鼻砂部層T7  
 標本番号 7NIII S17-21  
 保管場所 展示室

出典 地質学論集  
 図版など 図版IV\_1,2,3  
 備考  
 申請理由 ヤベオオツノジカの体肢骨の形態的特徴を解明できる重要な標本





ID 085	出典	地質学論集	
種別	種別	種別	種別
名称	名称	名称	名称
発行年	発行年	発行年	発行年
発行次	発行次	発行次	発行次
産出層準	産出層準	産出層準	産出層準
標本番号	標本番号	標本番号	標本番号
保管場所	保管場所	保管場所	保管場所
ヤベオオツツノジカ	ヤベオオツツノジカ	ヤベオオツツノジカ	ヤベオオツツノジカ
右脛骨	右脛骨	右脛骨	右脛骨
1975	1975	1975	1975
第06次	第06次	第06次	第06次
立が鼻部層T7	立が鼻部層T7	立が鼻部層T7	立が鼻部層T7
6NⅢT9-18	6NⅢT9-18	6NⅢT9-18	6NⅢT9-18
展示室	展示室	展示室	展示室
図版Ⅲ_13,14	図版Ⅲ_13,14	図版Ⅲ_13,14	図版Ⅲ_13,14
備考	備考	備考	備考
ヤベオオツツノジカの体肢骨の形態的特長を解明できる重要な標本	ヤベオオツツノジカの体肢骨の形態的特長を解明できる重要な標本	ヤベオオツツノジカの体肢骨の形態的特長を解明できる重要な標本	ヤベオオツツノジカの体肢骨の形態的特長を解明できる重要な標本
申請理由	申請理由	申請理由	申請理由
野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号	野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号	野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号	野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号
ID 086	出典	野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号	
種別	種別	種別	種別
名称	名称	名称	名称
発行年	発行年	発行年	発行年
発行次	発行次	発行次	発行次
産出層準	産出層準	産出層準	産出層準
標本番号	標本番号	標本番号	標本番号
保管場所	保管場所	保管場所	保管場所
ヘラジカ	ヘラジカ	ヘラジカ	ヘラジカ
左下顎第2大白歯	左下顎第2大白歯	左下顎第2大白歯	左下顎第2大白歯
2006	2006	2006	2006
第16次	第16次	第16次	第16次
立が鼻部層T2	立が鼻部層T2	立が鼻部層T2	立が鼻部層T2
16NⅢF18-36	16NⅢF18-36	16NⅢF18-36	16NⅢF18-36
収蔵庫	収蔵庫	収蔵庫	収蔵庫
図版Ⅰ_6,7,8	図版Ⅰ_6,7,8	図版Ⅰ_6,7,8	図版Ⅰ_6,7,8
備考	備考	備考	備考
086, 087, 088の3点は接合する	086, 087, 088の3点は接合する	086, 087, 088の3点は接合する	086, 087, 088の3点は接合する
申請理由	申請理由	申請理由	申請理由
野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号	野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号	野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号	野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号
ID 087	出典	野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号	
種別	種別	種別	種別
名称	名称	名称	名称
発行年	発行年	発行年	発行年
発行次	発行次	発行次	発行次
産出層準	産出層準	産出層準	産出層準
標本番号	標本番号	標本番号	標本番号
保管場所	保管場所	保管場所	保管場所
ヘラジカ	ヘラジカ	ヘラジカ	ヘラジカ
左下顎骨片(第3大白歯が種立)	左下顎骨片(第3大白歯が種立)	左下顎骨片(第3大白歯が種立)	左下顎骨片(第3大白歯が種立)
2008	2008	2008	2008
第17次	第17次	第17次	第17次
立が鼻部層T3	立が鼻部層T3	立が鼻部層T3	立が鼻部層T3
17NⅢF18-2	17NⅢF18-2	17NⅢF18-2	17NⅢF18-2
収蔵庫	収蔵庫	収蔵庫	収蔵庫
図版Ⅱ_1,2,3	図版Ⅱ_1,2,3	図版Ⅱ_1,2,3	図版Ⅱ_1,2,3
備考	備考	備考	備考
086, 087, 088の3点は接合する	086, 087, 088の3点は接合する	086, 087, 088の3点は接合する	086, 087, 088の3点は接合する
申請理由	申請理由	申請理由	申請理由
野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号	野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号	野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号	野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号
ID 088	出典	野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号	
種別	種別	種別	種別
名称	名称	名称	名称
発行年	発行年	発行年	発行年
発行次	発行次	発行次	発行次
産出層準	産出層準	産出層準	産出層準
標本番号	標本番号	標本番号	標本番号
保管場所	保管場所	保管場所	保管場所
ヘラジカ	ヘラジカ	ヘラジカ	ヘラジカ
左下顎骨	左下顎骨	左下顎骨	左下顎骨
1987	1987	1987	1987
第10次	第10次	第10次	第10次
立が鼻部層T2	立が鼻部層T2	立が鼻部層T2	立が鼻部層T2
10NⅢE17-88	10NⅢE17-88	10NⅢE17-88	10NⅢE17-88
収蔵庫	収蔵庫	収蔵庫	収蔵庫
図版Ⅲ_17	図版Ⅲ_17	図版Ⅲ_17	図版Ⅲ_17
備考	備考	備考	備考
086, 087, 088の3点は接合する	086, 087, 088の3点は接合する	086, 087, 088の3点は接合する	086, 087, 088の3点は接合する
申請理由	申請理由	申請理由	申請理由
野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号	野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号	野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号	野尻湖哺乳類グループ(2010)地球科学64巻6号

